

授業科目	女性と装いの文化				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	CH10306J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP5-1			
担当教員	神原 ゆうこ							
授業概要	<p>この授業では、女性に関する文化について、装いを中心に様々な角度から考えていきます。現在、日本に住む私たちが考える「女性らしい装い」は、私たちの女性についての考え方を反映しています。したがって、女性らしい装いというものは、時代や地域によっても変化します。多様性の時代だから、現在は女性らしい装いなんて関係ないと思う学生もいるかもしれません。では、みなさんが「女性らしい服装」と聞いたときに、思い描く服装はどれだけ多様でしょうか。この授業では、実際にみなさんが当たり前だと思っていることを、ディスカッションやワークシートの記入で確認しながら、講義を進めていきます。</p> <p>多くの社会の男性と女性に、それぞれ望ましい装いが存在してきた歴史をふりかえると、現在、私たちが自由だと思っている社会は、それほど自由ではないかもしれません。女性の装いと文化を通して現代の世界を考えることを目指したいと思います。</p> <p>この授業は遠隔授業として実施します。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の装いと文化についての基本的な歴史と、ジェンダーに関する基礎知識を身に着ける。(DP1-1)</li> <li>・身に着けた知識を用いて自分の考えを説明したり、他者と意見を交換して考えを深める。(DP5-1)</li> </ul>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	40	20	0	30	10	100	
知識・理解 (DP1-1)	0	40	10		20		70	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)			10		10	10	30	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
女性の装いと文化についての基本的な歴史と、ジェンダーに関する基礎知識を身に着け、これまでの自分の価値観を相対化する。講義で身に着けた知識や考え方をういて、自分の考え論理的に説明することができる。				女性の装いと文化についての基本的な歴史と、ジェンダーに関する基礎知識を身に着ける。講義で身に着けた知識や考え方をういて、自分の考えを説明することができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:衣服から考える女性1～本授業の導入～ 「女性の装い」とはそもそもどのようなものなのか、現在と過去の世界の衣服を参照しながら考えます。	講義・ワークシート 記入・ディスカッション	講義内容をしっかり復習すること。新聞や雑誌の記事など、関連するテーマの文章に日常的に目を通し、ディスカッションの準備をすること。	60
2	テーマ:衣服から考える女性2～性別を示す装いについて～ 多くの社会で異性装はタブーとされてきました。この点から女性と衣服について考えます。	講義・ワークシート 記入・ディスカッション	講義内容をしっかり復習し、小テストに備えること。	60
3	テーマ:衣にたずさわる女性 美しい衣服を作ることが女性の美德とされてきた社会は世界各地にあります。衣服を作ることと女性について考えます。また、これまでの授業の確認テストを行います。	小テスト・講義	講義内容をしっかり復習すること。新聞や雑誌の記事など、関連するテーマの文章に日常的に目を通し、ディスカッションの準備をすること。	60
4	テーマ:衣を消費する女性 衣服をつくる時代は終盤を迎え、衣服は買う時代になりました。このことは女性にとって、どのような意味を持つでしょうか。また第7回に提出するレポートについて説明します。	講義・ワークシート 記入・ディスカッション	講義内容をしっかり復習すること。新聞や雑誌の記事など、関連するテーマの文章に日常的に目を通し、ディスカッションの準備をすること。	60
5	テーマ:現代社会のファッションと女性 現代社会は、グローバルなアパレル企業の出現し、衣服が大量消費されています。また、ファッション関係の情報もあふれています。このような時代は女性の装いにどのような影響を与えたでしょうか。	講義・ワークシート 記入・ディスカッション	講義内容をしっかり復習し、小テストに備えること。	60
6	テーマ:あるべき女性の身体 様々な社会における「女性らしさ」について考えます。時代の変化のなかで「理想の女性像」はどのように変化してきたか振り返ります。また、これまでの授業の確認テストも行います。	講義・小テスト	これまでの講義内容をしっかり復習し、レポート課題の準備をすること。	60
7	テーマ:多様性の時代の女性(まとめ) 最終レポートをもとに、装いに関する社会問題を取り上げながら、これまでの講義を振り返ります。	講義・ディスカッション	講義全体の内容を再度復習すること。	60
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	記述式のテストやレポート、ワークシートなど書く作業を課します。自分の考えをわかりやすく文章にする能力があると望ましい。			
テキスト	指定しない。資料を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>(参考図書)</p> <p>木村涼子 2013『よくわかるジェンダースタディーズ』ミネルヴァ書房</p> <p>深井晃子ほか 2010『世界服飾史(増補新装版)』美術出版社</p> <p>藤田結子ほか 2017『ファッションで社会学する』有斐閣</p> <p>山田孝子ほか 2019『文化が織りなす世界の装い』英明企画編集</p> <p>鷺田清一 2005『ちぐはぐな身体』ちくま文庫</p> <p>そのほか講義中に適宜紹介します。女性のライフスタイルに関する新聞記事などは意識的に読んでおきましょう。</p> <p>高校世界史(近現代)と現代社会の基本知識はあったほうが望ましいので、復習しておきましょう。</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>知識を活用し、自分で調べ、考えてみることで、世界の見方を衣服を通してすこし変えてみたいと思います。</p> <p>一般常識とされている知識を疑う視点と柔軟な発想を持つことを心掛けてください。また、流行に敏感でなくても構いませんが、ファッション情報や装いにはある程度関心があるほうが授業を理解しやすいと思います。</p>			

達成度評価に関するコメント	2回の小テストとレポートのほか、講義中にとりくむワークシートの出来、ディスカッションへの参加を総合的に評価します。1回ごとの取り組みが重要になります。レポート執筆については講義中に説明します。
---------------	--